

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	力学第一		
英文授業科目名	Mechanics I		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	名取 晃子		
居室	西2-305		

公開E-Mail	授業関連Webページ
natori@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>「力学」は、物体の運動を取り扱う物理学である。その歴史は古く、古典力学、相対性理論、量子力学へと進化している。</p> <p>「力学第一」では主に質点の運動を取り扱う。ニュートンの運動方程式とその微分方程式の解き方、位置や運動量等のベクトル量の取り扱いの仕方、エネルギー保存則、運動量保存則等の理解とその応用力を身に着ける。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
同時進行ですが、「微分積分学第一」と「線形代数学第一」もしっかりと勉強してください。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
高等学校で「物理学」を学んでいない学生は、高校の「物理学」の教科書を読むと良い。

【教科書等】
<p>教科書：「力学」 川村 清 著 裳華房</p> <p>参考書：「力学」（増訂第3版）ランダウーリフシッツ著 東京図書 （素晴らしい名著です。力学にもこんなに深い自然の摂理があるのかと、ただただ感動します。余裕のある学生は是非、チャレンジしてください。）</p> <p>参考書：「なーるほど！の力学」 伊東敏雄 著 学術図書出版社</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

1. 運動の表し方
2. 速度と加速度
3. 運動の法則
4. 単振動
5. 束縛運動
6. エネルギーと仕事
7. 非慣性系での運動
8. 衝突と2体問題
9. 惑星の運動

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価は、中間試験、期末試験、質問カードによる出席点を総合して行う。

【オフィスアワー：授業相談】

質問、授業相談は、できるだけメールで行ってください。
回答は次回授業の最初に行います。

【学生へのメッセージ】

電子工学科の学生が、何故いまさら「力学」を学ばねばならないのかと思うかもしれません。しかし、古典力学は「量子力学」の基礎であると同時に、結晶内の電子の振る舞いも古典力学で理解される場合も多々あります。

さらに、微分方程式の工学への応用、ベクトル量の取り扱いは、「電磁気学」や「電気回路」でも重要です。

同じ「力学」でも、高校と大学では理解の深さが異なります。しっかりと勉強すれば、学問の深さにも目覚めるでしょう。

【その他】